

めざす子ども像	達成感をもち、主体的に学び、ふるさと西江原を愛する児童の育成
学年・学期における探究課題	住みよい町 西江原 (井原市) について考えよう (地域・ふるさと)
単元名	もっときれいで すみよい町 西江原調査隊 (全40時間=実施時期: 5月~12月)
単元のねらい	地域の自然環境に関わったり、環境保全の取組に触れることを通して、環境と人間が共生していることを理解し、持続可能な視点から環境保全の在り方について考えると共に、自分たちにできる取り組みを考え自らの生活や行動に生かすことができる。

		課題設定	情報収集	整理・分析	まとめ・表現
主な活動		身近な公園や川などの様子から、もっときれいで住みよい町、西江原にするためにはどうすればよいのか課題意識をもつ。	自らごみ拾いに行ったり、地域で環境保全の取組をしている方々について調査し、地域の様子を知る。	集めた情報をもとに、西江原町の住みよい環境を守っていくためにどのようなことができるかを考え、計画を立てることができる。	環境歩z電団体
引き出した 姿	いばら愛 (郷土愛と当事者性)	未来の西江原町や井原市について考え西江原町をもっときれいで住みよい町にするためにできることを考える。	地域の人や家族、友達と進んで関わり、活動したり話し合ったりする中で、地域の環境保全のために様々な地域の方が取り組んでいることに気づく。		西江原 (井原市) をもっときれいな住みよい町にするためにはどうすればよいかという視点で発表したり伝えたりする。
	やり抜く力 (向上心と忍耐力)		課題解決に必要な情報を手段 (調査活動・インタビュー・インターネット等) を選択して多様に収集することができる。	表現方法や内容について自分たちで考え、グループで取り組む内容を決定し計画を立てることができる。	相手意識をもった話し方や分かりやすい資料の提示について考え実践することができる。
	まき込む力 (発信力と協働性)			調べたり考えたり体験したりしたことをもとに、自分たちにできることを具体的に考え行動に移すことができる。	友だちと意見を出し合ったり、地域や環境保全団体企業の方を巻き込みながら内容を考えたりし、協働して表現することができる
仕掛け・工夫	もの		立戸公園 神戸川 ごみステーション		
	ひと	神戸川の環境保全の取組をしている人や公園の清掃活動をしている人を目向けられるようにする。	環境保全の取組をされている方 (家族も含む) に出会う。活動について知るだけでなく西江原町への思いや願い、課題について触れることができるようにする。		
	しごと (こと)		ごみ処理場・リサイクル工場 クロキ被服株式会社・給食センター等 環境に配慮した工夫をしていることに気づく		
アウトプットの工夫		地域の人材 企業との関わり 探求的な学習過程の発展的に繰り返される活動の工夫			

◆ 他教科・領域、学校行事等との関連

社会科「ごみのしよりと活用」「くらしを支える水」「世界とつながる地球」
理科「夏の星」 ふるさと井原魅力発見事業

◆ 他学年、他校 (園) 種、外部団体との連携・接続・交流

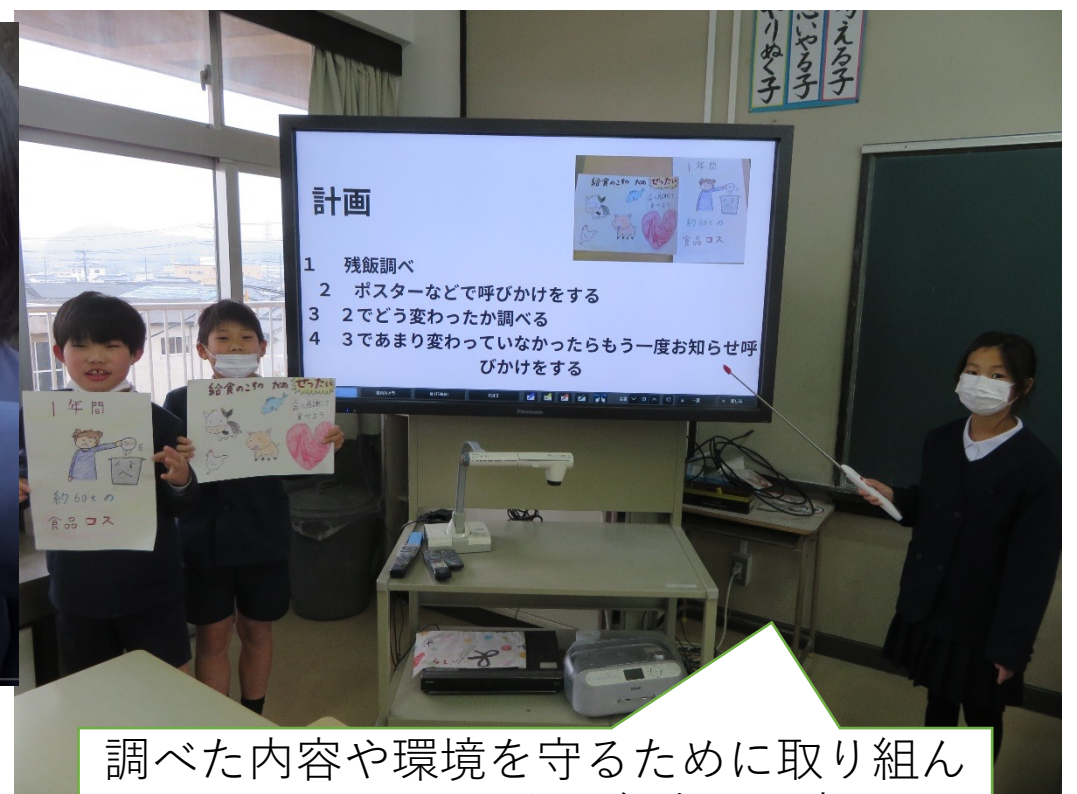
ごみ処理場・リサイクル工場
クロキ被服株式会社・給食センター

◆単元のねらい「地域の自然環境に関わったり、環境保全の取り組みに触れることを通して、環境と人間が共生していることを理解し、持続可能な視点から環境保全の在り方について考えると共に、自分たちができる取組を考え自らの生活や行動に生かすことができる。」



神戸川の保全活動をしている人の話を聞く

栄養士さんから給食センターの仕事や取組を聞き、残飯を減らすための取組みをグループで考え発表した。



リサイクルセンターや清掃工場を見学して学んだことをポスターにしてゴミ捨て場に掲示し、分別を呼び掛けた。

ポイ捨てを防止するCM作り

調べた内容や環境を守るために取り組んでほしいことを3年生に発表

◆成果（○）・課題（△）・来年度に向けて（☆）

- 西江原の環境を守るために多くの方が努力していることを知り、自分たちもできることをしたいという思いをもつことができていた。
- △活動が多岐にわたったため、まとめるのに時間がかかった。
- ☆校外に向けた取組を考え地域に発信していく機会を増やす。